やまだ桂のNATO廃絶

ノー・アクション・トーク・オンリー

Vol. 216

GoToトラベル　9

読者の皆様が当コラムを読むころには首都圏1都3県の緊急事態宣言がすでに解除されているでしょうか。

政府と都県知事には政治的な駆け引き抜きで解除に至った理由についての説明責任があるはずですが、曖昧な説明となし崩し的な解除になったのならば政府や都県知事に対する人々の不信感は一気に高まることになるでしょう。

なぜなら、すでに政府や都県への不満と不信感は人々の行動にも表れているからです。緊急事態宣言が再び延長された最初の日曜日（14日）の1都3県の人出は各地で大幅に増加しており、某通信会社の調査でも15時台の東京都心の人出は1週間前に比べ、渋谷177%、銀座113%、浅草137%、お台場126%と増加し、横浜111%、千葉113%、大宮109%と東京都周辺でも人出が増えていました。観光地の人出も箱根（宣言直後の105%）、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（同136%）、嵐山（同150%）のいずれでも宣言後最多を記録しています。

政府と都県知事がどれだけ外出自粛や在宅テレワーク、飲食店の営業時間の時短を訴えたとしても、長期間に及ぶ緊急事態宣言に耐えられなくなった人々の行動を止めることはできません。世間では「自粛疲れ」の表れとも言われますが、自粛や規制を強いる政府や都県に対する人々の反抗的態度であるとも言えます。大手メディアの報道ではこれらの動きの中から特に高齢者の昼カラと若者の会食が増加傾向にあり、変異ウイルスの増加とともに感染者数は下げ止まらずリバウンドが起きると警鐘を鳴らしています。

しかし実際は、先月から全国的にCOVID―19感染症による死亡者数と重症者数の減少傾向が続き、東京都だけを見ても陽性率は2月末から3・5%前後で推移していて変化がありません。18日には政府が解除の可否を決定し、解除後の感染様からの信頼は失くさないようにしたいものです。私たちの生業はお客様との信用関係がなければ成り立たないのですから。

（山田桂一郎＝まちづくり観光研究所主席研究員）

政治に左右されない信頼構築

世界規模のパンデミックから1年以上が経つ。その間、3密回避といった新しい生活様式やワクチンの開発と接種など、やっかいな敵に対しての知見と対処法は少しずつ得ることができた。しかし、事態の大きな改善にはいまだ至っておらず、ことに観光業界は人の移動が伴う上、程度の差こそあれ会食も密も避けづらい様式を生業としている以上、まだまだ道のりは長い。その前提で今、我々ができることは何か。感染対策、クラスター対策の最前線を取材しようと、大阪府堺市のシティホテルサンプラザを訪ねた。

ホテル空間に日常を取り戻す

シティホテルサンプラザ（大阪府堺市）

辻内社長

銅イオン水を噴霧する大型加湿器「潤霧」

銅イオン水で感染・クラスター対策

3月12日、シティホテルサンプラザに2つの機械が運び込まれた。一つは銅イオン水生成装置、もう一つは可動式の大型加湿器。近く受け入れる企業の研修時に、感染対策として導入したユニットだ。

銅イオン水生成装置は、シーユー・トピア（大阪市中央区）が開発した「コロナバスターミニ」。卓上にも載せられる大きさの携帯性の高い機器で、一般水道水の蛇口と直結させ家庭用電源さえあれば簡易に銅イオン水が生成できる。

もともと銅は抗菌や防臭効果の高い金属。一般社団法人日本銅センターによるとO―157、インフルエンザやノロウイルス、レジオネラ菌などに超抗菌効果を発揮されることが実証されている。これは、水に溶けだしたわずかな銅イオンが細菌類の活動を抑制するためだ。銀にも同様な効果が認められているが、銅の方が効果が高いとされている。しかも2020年3月には米国CDC・UCLA・プリストン大学の研究チームがコロナウイルスを不活化する効果を実証。日本では一般財団法人北里環境科学センターが「銅・銅合金が極めて有効と考えられる」と報告している。

コロナバスターミニは、水1リットルあたり1ミリグラム以下、つまり約1PPM以内（水道水基準）の銅イオン水を生成。成人1日あたり2ミリグラム前後が必要とされる必須栄養素の銅なので、特別な薬剤を用いずに超抗ウイルス効果を得られるのがコロナバスターミニで生成される銅イオン水だと言える。

水道水と家庭用電源で銅イオン水を生成できる「コロナバスターミニ」

この銅イオン水を空中に噴霧するのが、噴霧ノズルの大手メーカーいけうち（大阪市西区）の「潤霧（うるむ）」。介護福祉施設や病院、オフィスなど向けに開発された大型の加湿器で、約100畳（150平方メートル）の空間を一定の湿度に保つ機器だ。大型加湿器の多くはコンプレッサーによって噴霧するが、潤霧はポンプ式で静粛性が高いことも特徴。

シティホテルサンプラザではコンベンションホールに潤霧を設置。コロナバスターミニで生成した銅イオン水を噴霧、空中に飛散した銅イオンが空間に漂う細菌とウイルスに付着し不活化させる効果を生かした。一度噴霧すると24時間持続するが、ホテルでは客に安心感を与えるため、来場時に感染対策として〝見える化〟させた。

同ホテルの辻内宏治代表取締役は、感染対策として銅イオン水を導入した理由をこう話す。「全室アルコール除菌を徹底していきましたが、アルコールの匂いを気にするお客様もいますし、何より清掃などにあたるスタッフの手荒れがひどい。水に近くて殺菌効果が高い銅イオン水は、お客様にもスタッフにもやさしい対策だと思います」。

また、いけうちノズル事業部の許珮甄（キョ・ハイシン）さんが「銅イオン水はスケールの発生を防ぐので、他の薬剤のように加湿器のノズルが根づまりすることもありません」と、潤霧との相性の良さを話す。

最後に、辻内社長は「私たちの業界に非日常の対策はあり得ません。語弊を恐れずに言うと、やはりマスク会食は不自然です。コロナ対策をいかに日常化できるかがポイント。無味無臭、除菌された空間をつくることは日常に戻ること。銅イオン水ユニットの導入は、そこが最大の理由なのです」と、言葉に力を込めた。

超抗ウイルス効果を無害で

アジアからの
外国人採用をご支援します!!

2020年2月25日
外国人技能実習制度に
宿泊職種が追加されました！

☑ 宿泊職に完全特化
☑ 担当全員が法人研修と採用支援のプロ
☑ 北関東から沖縄までご支援
☑ ３年間転職なし。４年目から特定技能へ
☑ 接客、配膳、清掃業務などが可能
☑ 計画的な雇用と事業所間異動が可能

日本の歴史と文化を守る宿泊業界を支援する
アジア異業種連携協同組合
大阪 〒540-0026 大阪市中央区内本町1-4-12 NPOビル５階
東京 〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-3-3 アーバンリゾート代官山５階
☎06-7167-4346　https://daic.or.jp/service/